

第181回暮らしのSDGs学習会					
会議年月日	R4年8月12日	時間	13:30~15:30	場所	生涯学習センター
出席者	吉永、平手、高橋、横田、難波、筒井、笠原、増永（記）				
議 題					
第181回暮らしのSDGs学習会を開催しました。					
1. 日時	2022年8月12日 13:30~15:30				
2. 会場	流山市生涯学習センター（3F）大会議室				
3. テーマ	「中国での環境教育と国内中学校で実践したBDF」				
内容	環境教育の進め方 パートⅠ（中国編）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育で大切なこと。 持続可能な生活様式の実現。 ・日本の「環境教育指導資料」は自然体験を主にした活動で、中国は先進国に追いつくため「科学技術教育重視」。今日東アジアでもこの動きとなった。 ・中国での環境教育研修会（北京市）問題の解決、人材の育成、対象は教職員。 ・北京市、西安市での環境教育の実践例 対象は一般教員。 				
	環境教育の進め方 パートⅡ（廃食油からバイオディーゼル燃料を作ろう）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンス・パートナーシッププログラム 松戸市立河原塚中学校で。 ・学校と民間研究機関との連携や体験的問題解決の学習の実践例。 				
4. 講師	難波 幸男（OBN会員）				
	日本の学校では中々環境教育が進まないのはなぜか？				
	a.新しい教育領域に「英語・情報基礎」が入り、文科省の通達指導が環境教育より優先される。				
	a.学校の経営方針の中にSDGsの研修がなく、校長教職員も環境に対する優先度が低い。学校によっては校長が率先してSDGsを全校集会や児童会で取組み、特別活動の時間を確保しているところある。				
	環境にやさしいテーマや事項が継続的に取組みが出来ないのか？				
	a.環境委員会やエコクラブの組織のある学校では継続的に実践されているが、活動が出来ないところが多い。教員と予算が不足している政治の問題である。				
次回の予定					
	・開催日時 毎月第2金曜日（原則）13:30~ 次回は9月9日				
	・テーマ LNGの輸入の歴史と現状				
	・講師 筒井 義憲（千葉県地球温暖化防止活動推進員・ガス主任技術者）				
	・開催案内・お知らせは学習テーマが決まり次第、会員の皆様へはメールで、				
	会員外の方々には、当OBNホームページでご案内します。				
以上					